

日本の
ひなた
宮崎県

みやざきの うごき 2025



contents

- 1 宮崎県のすがた
- 2 人口のうごき
- 3 経済のうごき
- 4 宮崎県総合計画
- 5 日本一挑戦プロジェクト
の着実な推進
- 6 若者・女性を重視した
人口減少対策の強化
- 7 持続可能な未来に
向けた基盤づくり
- 8 行財政改革の推進
- 9 宮崎県の財政
- 10 宮崎県的主要な県政のうごき
- 11 宮崎県のあゆみ
- 12 全国から見た宮崎県

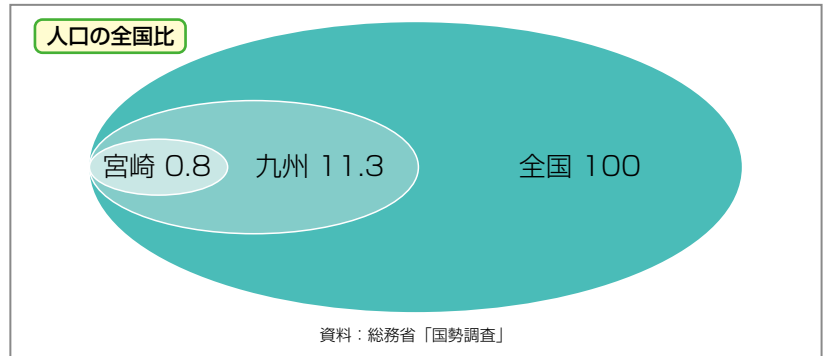


1 宮崎県のすがた



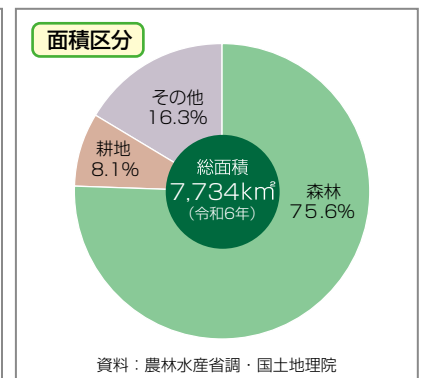
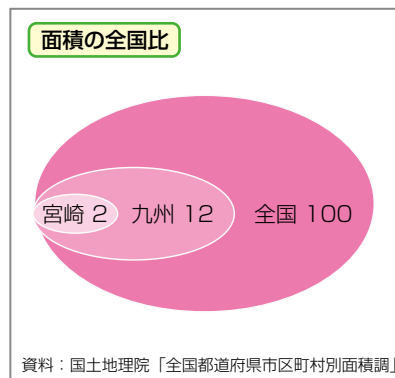
1 人口

- 県の人口は1,070千人（令和2年10月1日）で、全国人口の約0.8%となっています。



2 面積等

- 県土面積は7,734km²で、国土の約2%を占めており、9市14町3村で構成されています。
- その中で、森林(5,846km²)が75.6%、耕地(625km²)が8.1%となっており、緑豊かな地勢となっています。



3 気候

- 平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有しています。
- 降水量が多く、広大な森林と相まって豊富で良質な水資源に恵まれています。

日 照 時 間	2,122時間	(全国6位)
平 均 気 温	17.7℃	(全国3位)
降 水 量	2,626mm	(全国2位)

資料：気象庁「日本気候表」（宮崎市、平成3年～令和2年の平均）

4 自然環境

- 本県は、緑豊かな山々や美しい海岸線など優れた自然環境に恵まれており、自然公園面積は91,919haで、県土の約12%を占めているほか、105haの海域公園地区が指定されています。
- 全国に先駆けて制定した沿道修景美化条例などに基づいて、沿道の修景、自然環境の保全と創出に努め、郷土の美化を推進しています。



沿道修景植栽地区

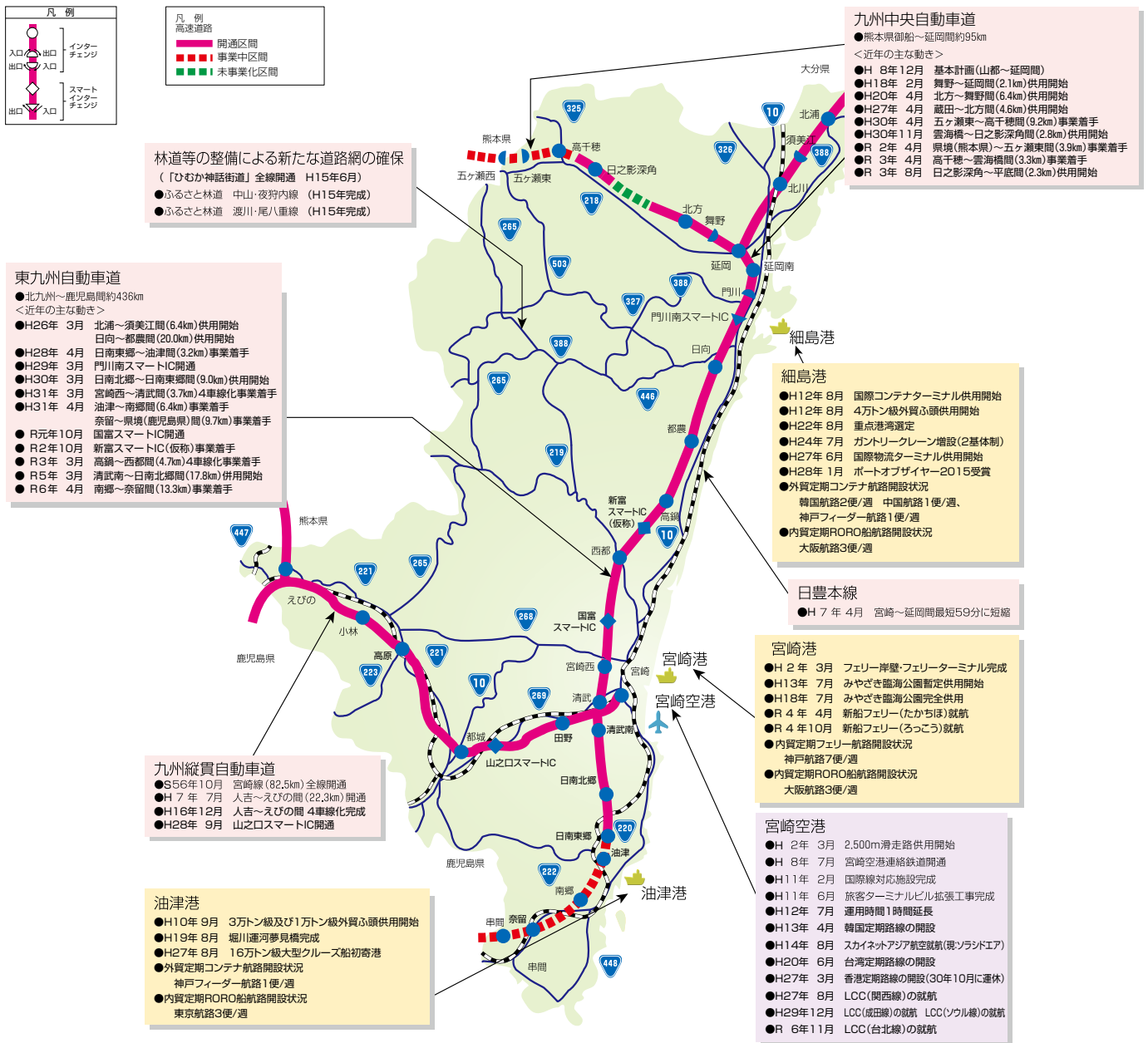
国 立 公 園	1公園	13,006ha	(霧島錦江湾)
国 定 公 園	4公園	31,968ha	(日南海岸、祖母嶺、日豊海岸、九州中央山地)
海 域 公 園 地 区	2公園 12地区	105ha	(日南海岸、日豊海岸)
県 立 自 然 公 園	6公園	46,945ha	(尾鈴、西都原杉安峽、母智丘関之尾、わにつか、矢岳高原、祖母嶺)
自然環境保全地域	2か所	184ha	(檜葉、掃部岳北部)
緑地環境保全地域	4か所	21ha	(森谷観音、大斗滝、三之宮峯、長谷観音)
沿道自然景観地区	18か所	1,026ha	
沿道修景植栽地区	70地区	155.8km	

資料：自然環境課 (R7.3.31)
道路保全課 (R7.3.31)

5 総合交通網

●総合交通網の整備状況

東九州自動車道及び九州中央自動車道をはじめとする高速道路や国道などの整備による「県内1時間構想」の実現、空港・港湾の整備等に向けて、積極的な取組を行っています。



空路	東京(羽田)	東京(成田)	名古屋(中部)	大阪(伊丹)	大阪(関西)	福岡	沖縄(那覇)	ソウル	台北
	90分 (日17往復)	105分 (日1往復)	75分 (日3往復)	60分 (日11往復)	65分 (日1往復)	40分 (日13往復)	85分 (日1往復)	90分 (週3往復)	120分 (週2往復)

高速バス	福岡(博多天神)	長崎	熊本	新八代(B&S)	高千穂	高速バス	福岡	熊本
宮崎～	4時間19分 (21往復)	5時間17分 (2往復) ※季節運行	3時間23分 (10往復)	2時間15分 (15往復)	2時間40分 休止中	延岡～	4時間21分 (4往復)	4時間5分 (1往復)

鉄道	博多(九州新幹線経由)	博多(日豊本線経由)	博多(B&S)	小倉	大分	鹿児島中央
宮崎(宮崎駅)～	3時間32分(415km)	5時間14分(407km)	3時間15分	4時間27分(340km)	2時間59分(207km)	2時間8分(126km)

カーフェリー	神戸	RORO 船	大阪	RORO 船	大阪	RORO 船	東京
宮崎(宮崎港)～	495km 12時間20分 (週7便)	宮崎(宮崎港)～	494km 20時間 (週3便)	日向(細島港)～	457km 14時間30分 (週3便)	日南(油津港)～	974km 25時間 (週3便)

外貨定期航路	釜山(韓国)	上海(中国)	神戸(フィーダー)	外貨定期航路	神戸(フィーダー)
日向(細島港)～	1日(週2便)	3日(週1便)	2日(週1便)	日南(油津港)～	2日(週1便)

(R7.5月現在)

※ 時間は、往復のうち最短時間を記載している。

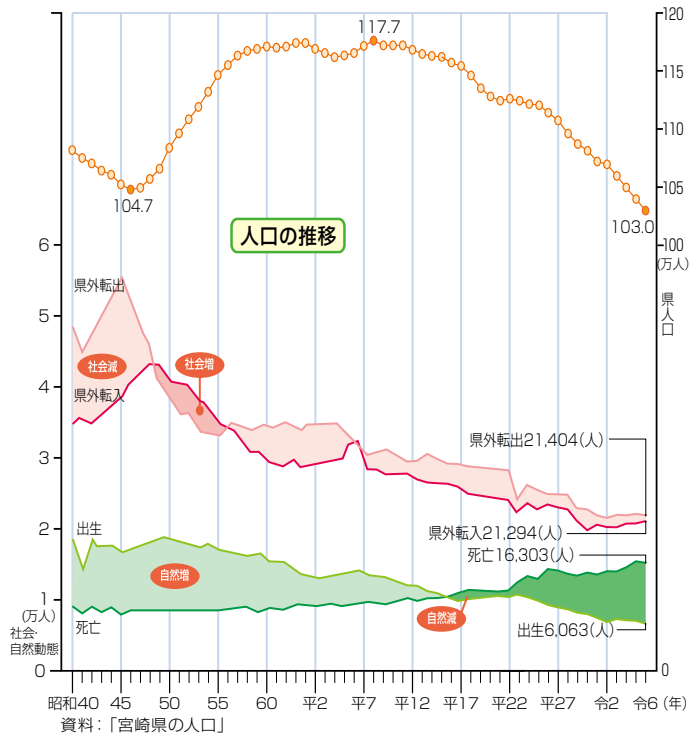
※ RORO 船：トラックやトレーラーが自走で船に乗り込み、貨物を積載したまま運搬できる貨物用の船舶。

※ フィーダー：国内の主要港湾で中継され、外国の港湾へ接続する航路。

2 人口のうごき

1 人口の動態

- 本県の総人口は、昭和46年(104万7千人)を境に増加基調に転じ、転出数の大幅な減少などを背景に昭和50年代前半まで高い伸びを示しました。
- その後、人口増加率は低下を続け、県人口は、平成8年(117万7千人)をピークに減少傾向にあります。
- 自然動態をみると、自然増減数(出生数－死亡数)は、出生数の減少に伴い、昭和55年以降は減少傾向にあり、平成15年には自然減に転じています。
- 社会動態は、昭和56年以降、転出超過に転じた後、平成5～6年には転入と転出がほぼ同数となりましたが、平成7年以降、再び転出超過が続いています。

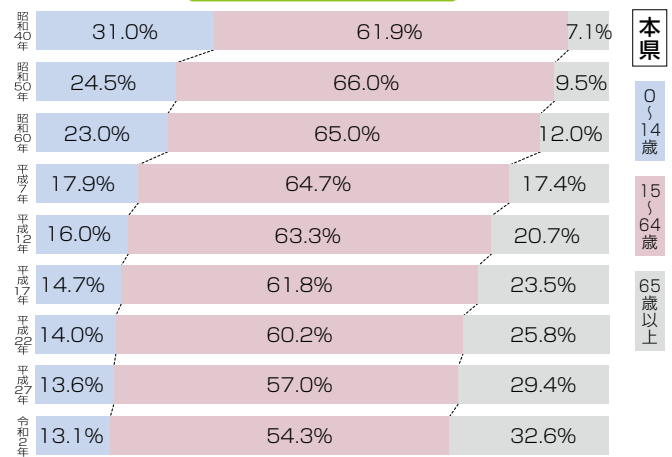


2 年齢(3区分)別人口の推移

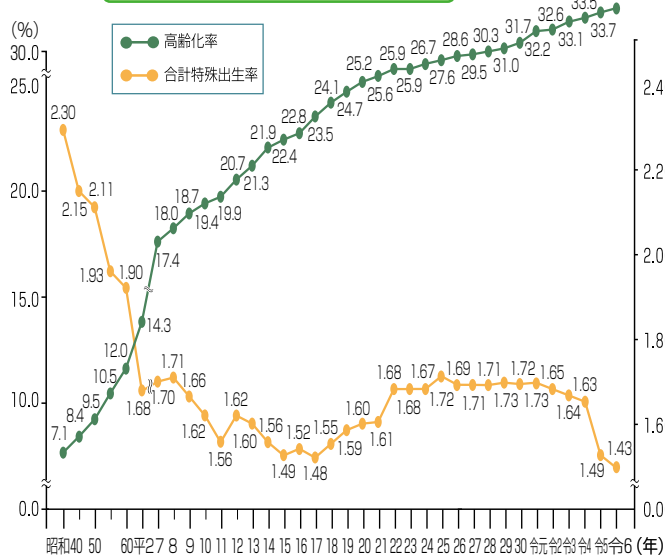
- 本県の65歳以上人口は、昭和40年の7万7千人から令和6年には35万1千人と約4.6倍に増加しております。
- 平成8年以降は、65歳以上の人口割合が14歳以下の人口割合を上回る状況となっています。
- 合計特殊出生率[※]は、1.43(令和6年)と全国の数値1.15を大きく上回っていますが、現在の人口を維持するために必要な水準2.07を下回っています。

※合計特殊出生率: 1人の女性が生涯に何人の子供を生むかを示す指標。

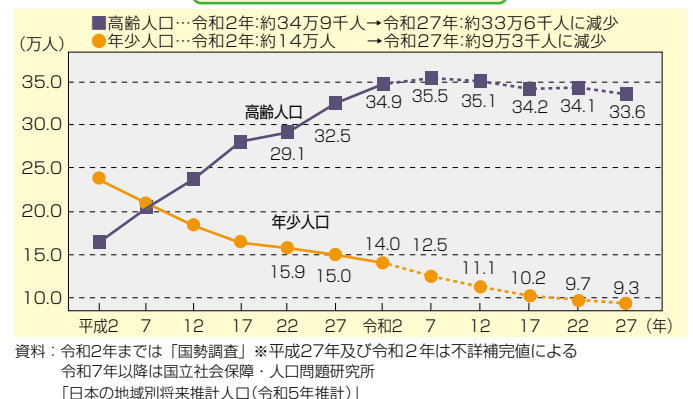
年齢3区分別人口の推移



高齢化率と合計特殊出生率の推移



宮崎県の高齢・年少人口予測

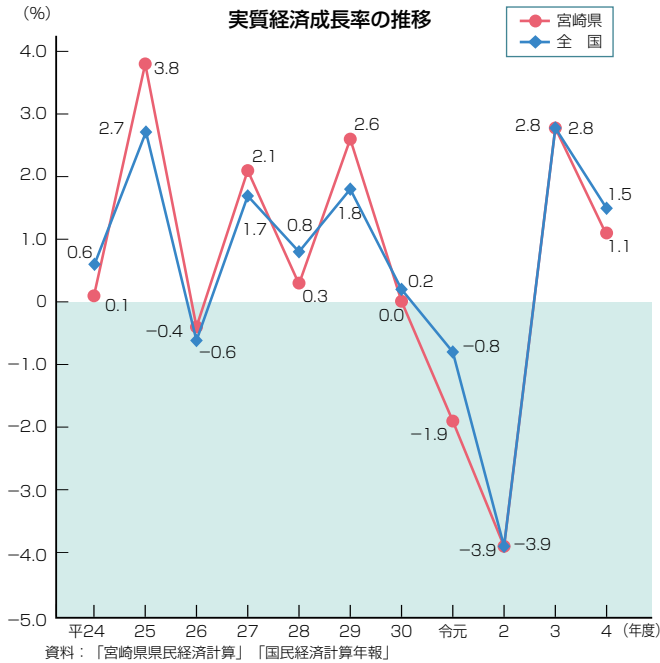


3 経済のうごき

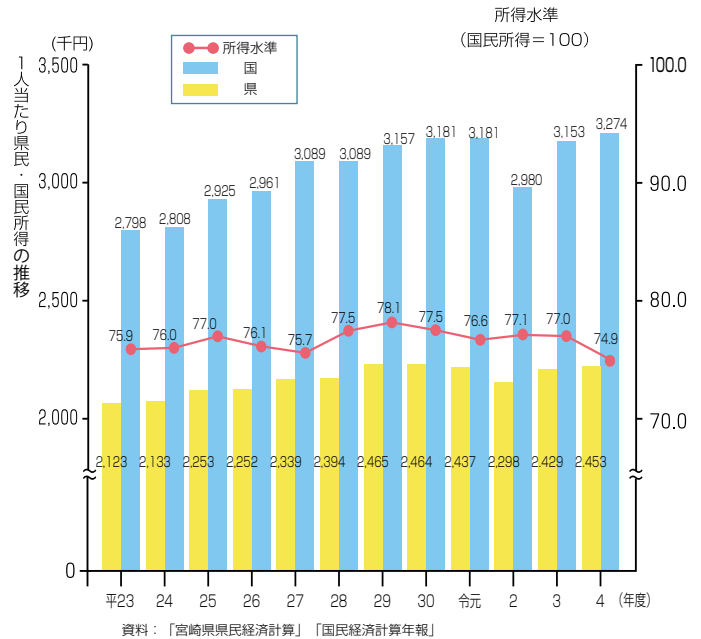


1 経済成長率(実質)

- 令和4年度の県内総生産
名目県内総生産 3兆7,669億円
実質県内総生産 3兆6,814億円

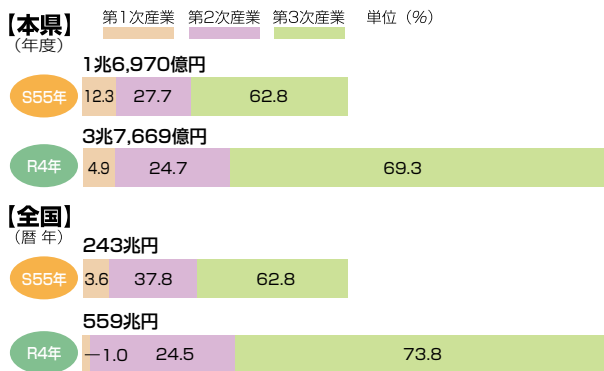


2 県民所得の推移(人口一人当たり)

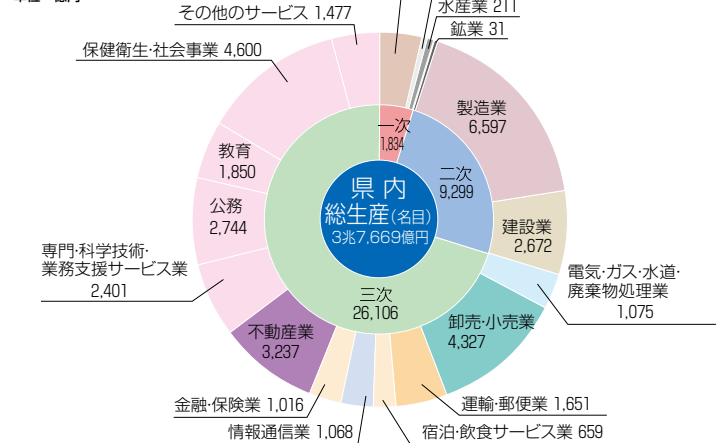


3 産業構造

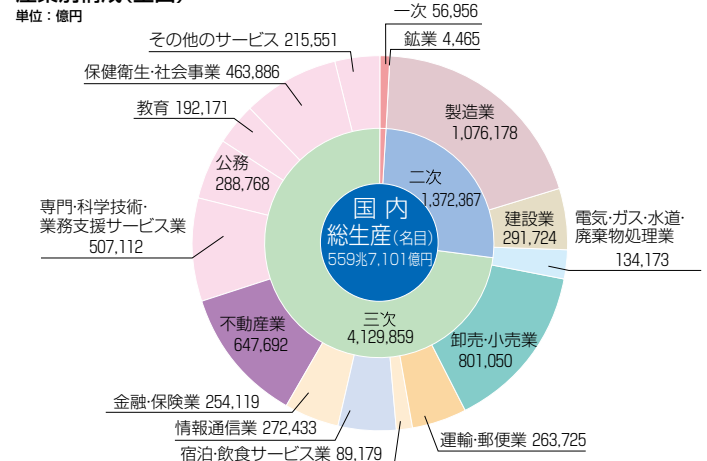
1. 県(国)内総生産(名目)



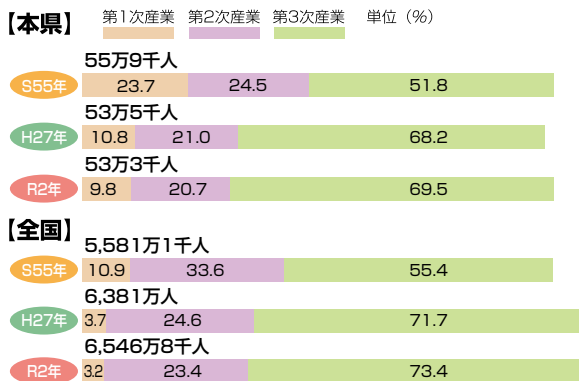
令和4年度 産業別構成(本県)



令和4年(暦年) 産業別構成(全国)



2. 就業人口



※県内(国内)総生産は、輸入品に課される税・関税等が加算控除されているため、各産業の合計とは一致しない。



宮崎県総合計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されます。

「長期ビジョン」は、令和22年（2040年）の将来像を描き、その実現に向けて解決すべき課題や今後の方向性など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。

「アクションプラン」は、長期ビジョンに示す目指す将来像の実現に向けて、令和5年度～令和8年度（2023～2026年度）の4年間に重点的・優先的に取り組む5つの重点プログラムを設定しています。

宮崎県総合計画

長期ビジョン 令和22年(2040年)を展望

【基本理念】安心と希望の未来への展望

将来像 1	将来像 2	将来像 3
一人ひとりが生き生きと活躍できる社会	安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会	力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

未来に必要な5つの要素(キーワード)

持続可能性	デジタル・先端技術・イノベーション	
人材力	地域力	きずな・つながり

今後の方向性

1	人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持
2	くらしを支え、未来を拓く産業づくり
3	人生を豊かに過ごせる地域づくり
4	将来の人口安定化に向けた社会づくり

アクションプラン(令和5～8年度の4年間)

5つの重点プログラム

I	コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生
II	希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり
III	「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍
IV	社会減ゼロへの挑戦
V	力強い産業の創出・地域経済の活性化

知事の政策提案

※都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置づけています。

アクションプラン 5つの重点プログラム

プログラムⅠ コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生

- ▶ 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実
- ▶ 県民生活・地域経済の早期回復
- ▶ 魅力あふれる「観光みやざき」の創生

【主な取組内容】

医療・福祉人材の確保・育成対策の強化、貧困や孤立など困難を抱える人への支援、中小企業・小規模事業者への支援、「スポーツランドみやざき」のブランド力向上などに取り組みます。



プログラムⅡ 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり

- ▶ 希望ある未来への挑戦
- ▶ 交通・物流ネットワークの維持・充実
- ▶ 命や暮らしを守る災害に強い県づくり

【主な取組内容】

次世代モビリティやメタバースなど未来技術の活用検討、持続可能な地域交通網の構築、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策などに取り組みます。



プログラムⅢ 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍

- ▶ 子どもを生き育てやすい県づくり
- ▶ 未来を担う子どもたちの育成
- ▶ 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり
- ▶ 健康・学び・スポーツ・文化の充実

【主な取組内容】

結婚・出産の希望がかなう環境づくり、新たな時代を生き抜く力を育む教育・キャリア教育などの推進、女性や障がい者、高齢者、外国人など様々な人が活躍できる社会づくり、健康づくりや生涯学習、スポーツ・文化交流の促進などに取り組みます。



プログラムⅣ 社会減ゼロへの挑戦

- ▶ 若者・女性の県内就業・県内定着の促進
- ▶ みやざき回帰・県外からの移住の促進
- ▶ 安心して住み続けられる持続可能な地域づくり

【主な取組内容】

「みやざきで暮らし、働く」良さの創出と情報発信、移住の促進や関係人口・交流人口の拡大、中山間地域の振興、ゼロカーボン社会づくり、交通安全・防犯対策などに取り組みます。



プログラムⅤ 力強い産業の創出・地域経済の活性化

- ▶ 産業を支える多様な人材の確保・育成
- ▶ 新産業の創出と地域経済の活性化
- ▶ 稼げる農林水産業への成長促進

【主な取組内容】

ICT技術者等の確保・育成、世界市場への積極的な展開、先端技術等を活用した持続可能な農林水産業への転換などに取り組みます。



5 日本一挑戦プロジェクト の着実な推進



子ども・若者プロジェクト

目指す姿 日本一生み育てやすい県への挑戦

～県・市町村一丸となって、子ども・若者政策の好循環を創出し、人口減少を抑制～

1. 取組の柱と方向性

1 出逢い・結婚の希望を叶える

⇒出逢い・結婚支援の充実・強化

2 子どもがほしい人の希望を叶える

⇒第2子以降の希望を後押しする施策等の展開

3 安心して子育てできる教育環境をつくる

⇒様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備



2. 令和6年度の取組状況、主な指標の進捗

【主な取組状況】

○結婚支援コンシェルジュ2名を配置（市町村担当、企業担当）

○男性の育休取得に取り組む企業等の支援

○県教育支援センター「コネクト」の設置

【主な指標の進捗状況】

○合計特殊出生率

プロジェクト前(R4):1.63 ⇒ 目標:1.8台

現況(R6):1.43（全国第3位）

○婚姻数

プロジェクト前(R4):3,805組 ⇒ 目標:4,500組

現況(R6):3,443組

○県内高校生海外留学者数

プロジェクト前(R1):88人 ⇒ 目標:400人

現況(R6):307人

3. 令和7年度の取組

出逢い・結婚支援

○民間のマッチングアプリや結婚相談所の利用料等補助

○カーフェリー等を活用した婚活ツアーの開催

子育て支援

○第2子保育料（0～2歳児）の利用者負担を1/2から1/4に軽減

○放課後児童クラブの待機児童解消へ向けたこどもの居場所確保

教育環境の整備

○科学技術に触れるイベントの開催、最先端の研究機関や大学等への派遣

○AI教材を活用した児童生徒の学力向上



グリーン成長プロジェクト

目指す姿 再造林率日本一への挑戦

～ゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現～

1. 取組の柱と方向性

1 循環型林業の推進

⇒産学官・県民が一丸となった再造林に係る“宮崎モデル”の構築

2 循環型農水産業の推進

⇒地域資源を最大限活用する宮崎らしい取組の構築

3 脱炭素化による成長の実現

⇒各産業部門の脱炭素経営の推進



2. 令和6年度の取組状況、主な指標の進捗

【主な取組状況】

- 都道府県で全国初となる宮崎県再造林推進条例の公布・施行
- 全国初となる地域再造林推進ネットワークを県内8地域に設立
- 耕畜連携コンソーシアムを県内14地域に構築

【主な指標の進捗状況】

- 再造林率
プロジェクト前(H30～R2平均):73% ⇒ 目標:90%以上
現況(R5):78% (全国第4位)
- 再造林推進ネットワーク加入事業体数(累計)
プロジェクト前:数値なし ⇒ 目標:400事業体
現況(R6):173事業体
- 粗飼料自給率
プロジェクト前(R3):88% ⇒ 目標:100%
現況(R5):86%

3. 令和7年度の取組

循環型林業の推進

- 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制の充実
 - ・森林の相続等に関する相談会の開催や専門家を交えた相談体制構築の検討等
- 再造林を支える担い手・事業体の確保
 - ・林業大学校における人材の育成、安全巡回指導や伐木技能向上研修の開催等
- 林業採算性の向上を図る新技術等の実装
 - ・コンテナ苗の生産施設整備や生産経費の支援等
- 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大
 - ・県産材の魅力がPRできる拠点となる施設整備支援等

循環型農水産業の推進

- 粗飼料生産拡大に向けた耕畜連携の推進
 - ・耕畜連携コンソーシアムの設立や活動の支援
- 国産粗飼料利用の推進
 - ・国産粗飼料利用拡大のための流通支援
- 中山間地域での自給飼料確保対策
 - ・放牧の活用を推進するための研修会の開催及び放牧に取り組むための支援

脱炭素化による成長の実現

再エネ電力の自家消費に資する蓄電池や消費電力の小さいLED照明の導入支援等



スポーツ観光プロジェクト

目指す姿 スポーツ環境日本一への挑戦

～スポーツ環境の充実により、地域経済の活性化、観光振興などの好循環を創出～

1. 取組の柱と方向性

1 世界レベルのキャンプ・大会の戦略的な誘致

⇒競技別誘致部会、ワンストップ窓口等による誘致・受入体制の強化

2 戦略的・計画的なハード整備

⇒スポーツ施設整備計画による施設の高質化

3 県内全域のスポーツ環境の充実 (全県化・通年化・多種目化)

⇒市町村とのネットワーク強化や支援



2. 令和6年度の取組状況、主な指標の進捗

【主な取組状況】

○キャンプ総合窓口「ひなたスポーツ観光ステーション」の開設

○キャンプ・大会等の競技別誘致部会の設立

○「ツール・ド・九州2025」の本県開催誘致

【主な指標の進捗状況】

○プロチームキャンプ数（野球・サッカー・ラグビー）

プロジェクト前(R4)：32チーム ⇒ 目標:43チーム

現況(R6)：34チーム
(全国順位：2位)

○春季キャンプ・合宿の経済効果

プロジェクト前(R4)：118億円 ⇒ 目標:150億円

現況(R6)：99億円

○観光入込客数

プロジェクト前(R4)：12,691千人回 ⇒ 目標:16,500千人回

現況(R6)：15,252千人回

3. 令和7年度の取組

国内外代表合宿の受入

○競泳韓国代表チーム宮崎合宿（4月～5月）

○ラグビー日本代表宮崎合宿（6月～）

○東京2025世界陸上に向けたイギリス陸連、ドイツ陸連の事前合宿（9月）

○侍ジャパン宮崎合宿（11月）

世界レベルの大会等の戦略的な誘致

○ラグビーリーグワン公式戦の開催（5月）

○ツール・ド・九州の開催（10月）

戦略的・計画的なスポーツ施設の高質化

○ひむかスタジアムの両翼拡張

○屋外型トレーニングセンターの機能強化



6 若者・女性を重視した人口減少対策の強化



「子ども・若者プロジェクト(日本一挑戦プロジェクト)」では、結婚や出産、子育てへの支援などの自然減対策に加え、今年度より、若者・女性が県内に定着し、活躍できる環境の創出など社会減対策の充実・強化に取り組みます。

若者・女性が生き生きと活躍できる環境づくり



○女性にやさしい環境づくり応援

女性が個性と能力を十分に発揮できる職場環境づくりを推進するため、女性の積極採用や管理職登用、多様な働き方など、女性の活躍推進や、女性が働きやすい環境整備に取り組む企業へ奨励金・補助金を支給します。

○女性・若者応援！起業チャレンジ支援事業

県内経済の発展・成長と、女性・若者の県内定着及びUIJターンの増加を図ることを目的に、2つの事業で起業に要する対象経費の補助を行います。

(1)ビジネスプランコンテスト開催事業

(2)地域魅力度アップによる女性・若者の県内定着応援事業

UIJターンの更なる推進

○若者UIJターン促進

若者の本県移住・就業を支援するための「若者応援給付金」を創設。三大都市圏等に1年以上在住した若者(29歳以下)を対象として、県内での就業など一定の要件を満たす場合に、給付金を支給し、若者のUIJターンを促進します。



○若者ふるさと就職応援

従来のUIJターン就職を目指す若者等に対する就職活動に要した交通費等の支援に加え、UIJターン就職をした新卒者等への引っ越し費用等を支援(国制度の対象となる東京からのUIJターン者に加え、他地域からのUIJターン者も広く支援)します。



7 持続可能な未来に向けた 基盤づくり

国内外との更なる交流拡大

○インバウンド向け二次交通対策強化

宮崎空港国際線の発着に合わせた空港と宮崎市内を結ぶバスの運行開始支援を行うほか、他県空港からの二次交通対策として、鹿児島空港と本県を結ぶ高速バスの実証運行支援に取り組み、本県へのインバウンド誘客促進を図ります。

○押し活で日本のひなたプロモーション

アイドルやアニメ、漫画などを応援する“押し活”をきっかけとした県内周遊企画などのプロモーションにより、本県の認知度を高め、観光誘客増を図ります。

○2025大阪・関西万博でMIYAZAKIの魅力PR

九州7県合同による催事出展において、「宮崎県ブース」を設置し、国内外からの来場者に対し、本県の「食」、「スポーツ」、「自然」、「森林資源」、「神話」等の魅力を発信し、本県への誘客等を図ります。

○みやざきブランドファン拡大

農畜産物における「みやざきブランド」の新たな認証マークを打ち出したフェアの開催やデジタルスタンプラリーの実施による更なるファン拡大に向けた取組、大学等と連携した機能性食品などの商品創出を支援します。



時代の変化に対応した力強い産業づくり

○外国人材定着促進支援

外国人材の受入等に係る相談窓口の設置による労働相談への対応や社内の受入体制整備等に向けた伴走支援とともに、外国人材の定着につながる県内企業の取組への補助など、本県産業を支える外国人材の定着促進を図ります。



○県内産業DXの推進

県内企業のデジタル化をサポートする相談窓口を設置するとともに、モデル企業の創出に向けた伴走支援を行います。また、システム導入等に対する経費補助やDXをけん引する人材の育成など、トータルで県内産業のDXを推進します。



○みやざき地域経済けん引企業等育成

人手不足の深刻化等の経営環境の変化や課題に対応し、本県地域経済をけん引する企業を育成するため、人的資本経営を志向するとともに、企業と従業員の所得向上を目指す企業に対して、経営及び人材面の戦略策定とその実装に向けた伴走支援を行います。



○新規就農者確保総合対策

農業の担い手不足に対応するため、就農しやすい就農環境を整備するとともに、就農地を事前に確保する取組や資金の交付、初期投資抑制といった切れ目のない支援を行い新規就農者を確保します。



○災害ボランティア支援体制整備

災害に備えた行政・社協・NPO等の多様な連携促進に向け、災害ボランティアの理解促進を図るフォーラムの開催等に取り組むとともに、民間団体とのネットワーク拡大などの災害ボランティア支援体制構築や災害中間支援組織の強化等を支援します。



○消防学校訓練機能強化

- ・女子寮の新設

女性消防吏員や消防団員が快適に研修や訓練に参加できるよう女子寮を新設します。

- ・実火災訓練施設(AFT)の整備

マンションやアパート等の高気密住宅における火災を想定した実用的な訓練ができるよう施設を整備します。



○重度障がい者(児)医療費公費負担

重度の身体障がい者や知的障がい者に係る医療費に加え、新たに精神障がい者（精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の「通院」及び「精神科以外の入院」に係る医療費を助成します。



○都城警察署整備

都城警察署は、築後68年が経過し、老朽化・狭あい化が著しい状況にあることから、庁舎の建て替え（現地建て替え）を行うことにより、警察機能の充実と住民の利便性の向上を図ります。



8 行財政改革の推進



限られた人員・財源の中で、多様化・高度化する県民ニーズに的確に対応しながら、県民本位の行財政改革を推進するため、「みやざき行財政改革プラン(第四期)」に基づき様々な取組を着実に推進することにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。

みやざき行財政改革プラン(第四期)の概要

基本理念

県総合計画の基本理念『安心と希望の未来への展望』を支える持続可能な行財政基盤の確立

○推進期間

令和5年度～令和8年度(4年間)

○推進体制

行財政改革推進本部(本部長:知事)を中心とした全庁的な行財政改革を推進するとともに、行財政改革懇談会(外部有識者)に意見を求めます。

○進捗状況等の公表

県民に分かりやすい形で毎年度公表します。

【改革プログラム】

改革の視点1 県政運営を支える行政基盤の構築と人材づくり

- (1)簡素で効率的な行政組織等の整備
組織体制の見直し、適正な定員・給与の管理、公社等改革の推進等
- (2)信頼性を高める行政運営
法令遵守意識の徹底、内部統制制度の適切な運用と監査制度の充実等
- (3)県政運営の透明性の確保
効果的・効率的な政策の形成・推進、情報公開制度の適切な運用等
- (4)県政を担う人材の育成・確保
行政ニーズに応じた多様な人材確保、女性職員の活躍推進等

改革の視点2 多様な主体との連携と県民目線のサービスの提供

- (1)多様な主体との連携・協働
企業、大学、NPO、ボランティア等との連携・協働等
- (2)市町村等との連携
市町村や国の機関との連携、市町村間連携の取組支援等
- (3)県政情報の発信と県民ニーズの把握
分かりやすい適時・的確な広報等
- (4)県民サービス・利便性の向上
行政手続の簡素効率化、相談窓口の利便性向上等

改革の視点3 行政のデジタル化と働き方改革の推進

- (1)行政サービスのデジタル化の推進
ICT等を活用した行政サービスの利便性向上等
- (2)ICTの活用等による業務効率化
ICTを活用した業務効率化、デジタル人材の育成等
- (3)全ての職員が働きやすい職場環境づくり
柔軟な働き方の推進、仕事と子育て・介護が両立できる職場環境の整備等

改革の視点4 健全な財務基盤の構築と資産の有効活用

- (1)自主財源の確保とコスト縮減
県税収入確保に関する取組強化、省エネ・省資源の徹底等
- (2)県有財産等の資産の有効活用
公共施設等の総合的かつ計画的な管理、知的財産権の取得と活用促進等

財政健全化指針



●本県の財政状況

本県財政は、県税等の自主財源に乏しい脆弱な財政基盤にあり、今後、社会保障関係費に加え、物価高騰等対策や防災・減災対策、国民スポーツ大会への準備、公共施設の老朽化対策等に多額の財政負担が見込まれることから、引き続き健全な財政運営を行っていく必要があります。

●令和7年度当初予算の概要

予算額(一般会計)は、以下の考え方にに基づき編成し、前年度当初予算額と比べ、1.2%増の6,680億円となっています。

- 令和7年度当初予算については、日本一挑戦プロジェクトをはじめとする「重点施策の推進」及び「財政の健全性の確保」の大きな2つの考え方にに基づき、みやざきの真価を県民の実感へつなげていく予算として、以下の三本柱で編成しています。

1 日本一挑戦プロジェクトの着実な推進

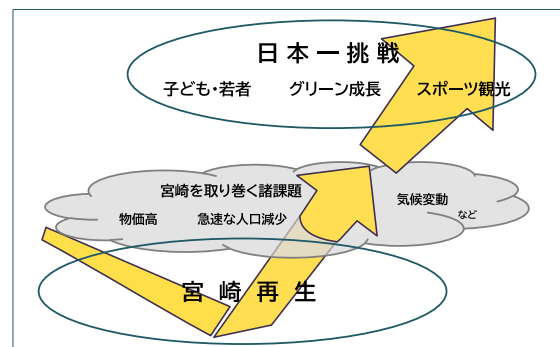
- (1) 子ども・若者 ～日本一生み育てやすい県へ～
- (2) グリーン成長 ～再造林率日本一へ～
- (3) スポーツ観光 ～スポーツ環境日本一へ～

2 若者・女性を重視した人口減少対策の強化

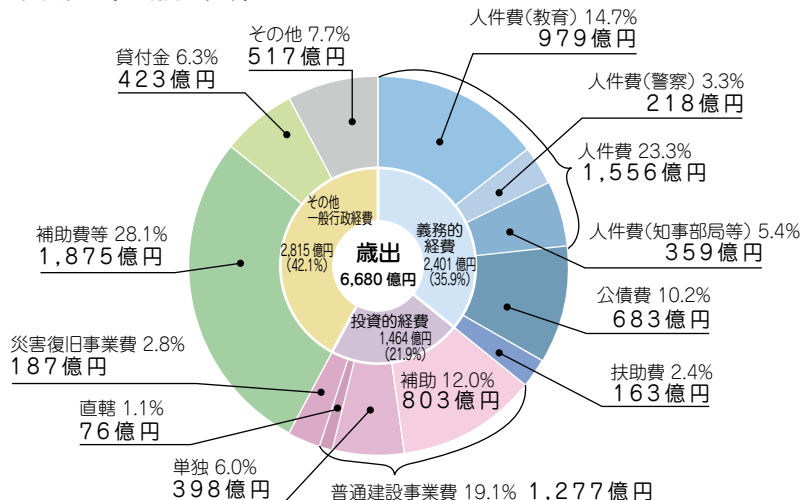
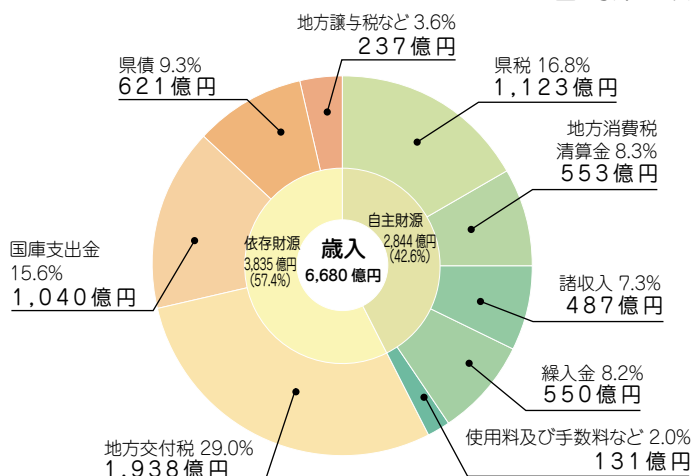
- (1) 若者・女性が生き生きと活躍できる環境づくり
- (2) U/IJターンの更なる推進

3 持続可能な未来に向けた基盤づくり

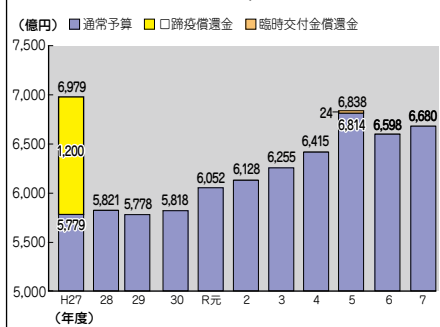
- (1) 国内外との更なる交流拡大
- (2) 時代の変化に対応した力強い産業づくり
- (3) 安全・安心な暮らしの確保



宮崎県の歳入・歳出(一般会計)

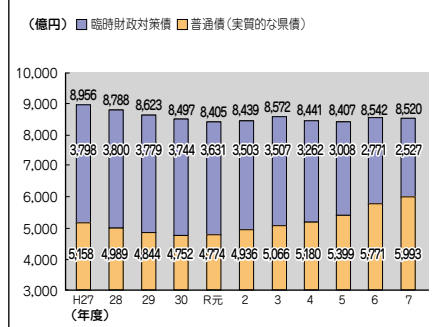


予算規模の推移(当初予算)



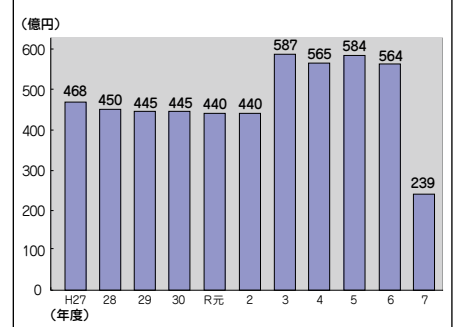
※平成27年度、令和元年度、令和5年度は6月補正後の予算額
 ※平成27年度の1,200億円は口蹄疫対策転貸債償還金
 ※令和5年度の24億円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金償還金

県債残高の推移(各年度末)



※令和5年度までは決算額、令和6年度は2月補正後、令和7年度は当初予算編成後の見込額
 ※臨時財政対策債：地方交付税の代替財源として措置される県債。償還金の全額が後年度交付税措置される。
 ※普通債：特例的な県債(臨時財政対策債等)を除く実質的な県債

財政関係2基金残高の推移(各年度末)



※財政関係2基金：財政調整基金、県債管理基金(財源調整部分)
 ※令和5年度までは決算額、令和6年度は2月補正後、令和7年度は当初予算編成後の見込額



○令和6年4月
知事の九州地方知事会会長就任(事務局の設置)



4月16日に河野知事が九州地方知事会会長に就任しました。様々な分野で躍動する九州をさらに前に進めていきます。また、その効果が本県の発展につながるよう取り組んでいきます。

○令和6年7月
宮崎県再造林推進条例の施行(都道府県で全国初)
宮崎県再造林推進決起大会



再造林率日本一に挑戦するグリーン成長プロジェクトに産学官と県民が丸となって取り組み、再造林意識の向上や気運醸成を図るため、宮崎県再造林推進決起大会を開催しました。

○令和6年7月
林業関係団体との災害時における廃棄物の
処理等の協力に関する協定締結(全国初)



災害発生時に、市町村から協力要請を受けた県が、宮崎県森林組合連合会、宮崎県造林素材生産事業協同組合及び宮崎県森林土木協会に対して、廃棄物の処理等に係る協力要請を行うことを可能とする協定の締結を行いました。

○令和6年9月
日向坂46「ひなたフェス2024」開催



ひなた宮崎県総合運動公園で人気アイドルグループ「日向坂46」による野外音楽イベント「ひなたフェス2024」が開催され、全国から約4万人のファンが訪れるなど大いに盛り上がり、大きな経済効果をもたらしました。

○令和6年5月
日本創生のための将来世代応援知事同盟サミット
inみやざき



本県で初めて将来世代応援知事同盟サミットが開催されました。「人口減少に向き合い、若者や女性が輝く地方へ」をテーマに議論し、「みやざき声明」と「人口戦略緊急アピール」が採択、その内容を国の骨太方針に反映するよう要請しました。

○令和6年7月
「第81回国民スポーツ大会・
第26回全国障害者スポーツ大会」開催正式決定



令和9年(2027年)に実施される、第81回国民スポーツ大会(国スポ)及び第26回全国障害者スポーツ大会(障スポ)の開催地に宮崎県が正式決定しました。本県での国スポ(国体)開催は48年ぶりとなります。

○令和6年9月
「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」
大会イメージソングお披露目式



歌詞435点、曲199点もの応募作品の中から選ばれ、制作された大会イメージソング「ひなたのチカラ」がお披露目されました。特別バンド「ひなたサイン」の演奏に、会場で魅了されました。

○令和6年6月・9月・令和7年2月
県民栄誉賞等授賞式(スカイ・ブラウン氏、
高山莉加氏、永瀬貴規氏、徳永二男氏)



オリンピックでメダルを獲得したスカイ・ブラウン氏に「県民栄誉賞」「県民栄誉特別賞」、高山莉加氏に「県民栄誉賞」、永瀬貴規氏に「スポーツランドみやざき特別表彰」、宮崎国際音楽祭の創設に尽力し、音楽監督を務めた徳永二男氏に「県民栄誉賞」を授与しました。

○令和6年10月
東京ビル再整備事業の建設着工



宮崎県東京ビルは、首都圏における本県の施策推進のための重要な戦略拠点としての役割を担っており、令和6年10月に建設工事に着手し、令和8年10月の供用開始を予定しています。

○令和6年11月
「第93回全国民生委員児童委員大会 宮崎大会」開催



本大会では、全国の民生委員・児童委員や関係者約2,800人が一堂に会し、委員同士の交流をはじめ、委員制度の維持や担い手確保等の課題解決に向けた意見交換等が活発に行われました。

○令和6年11月
ロームグループ「ラピスセミコンダクタ宮崎第二工場」
試作レベルの稼働開始



半導体大手のローム(株)が、子会社であるラピスセミコンダクタ(株)の宮崎第二工場を国富町に整備し、一部ラインで試作レベルの稼働を開始しました。10年間で約3.3兆円の経済波及効果を見込んでいます(2023年度時点のデータを前提に宮崎県で試算)。

○令和7年3月
「神楽継承・振興知事連合」立上げ式開催



「神楽」の2028年ユネスコ無形文化遺産登録を目指すとともに、神楽の保存・継承や価値向上を図る保存団体等の活動をより一層後押しするため、本県主導の下、「神楽継承・振興知事連合」を設立し、東京で立上げ式を開催しました。

○令和6年11月
「第40回地域づくり団体全国研修交流会宮崎大会」開催



第40回地域づくり団体全国研修交流会を本県で開催し、全国から約300名の地域づくり関係者が参加しました。本大会を通じて、県内の地域資源の魅力や実践的な地域づくりの取組を全国に発信する貴重な機会となりました。

○令和6年11月
国際定期便「宮崎-台北線」4年9ヶ月ぶりの再開



11月26日、約4年9ヶ月ぶりに「宮崎-台北線」がタイガーエア台湾による運航で再開されました。再開当日は日隈副知事やタイガーエア台湾幹部などが参加する記念式典が実施されました。

○令和6年12月
「KUROKIRI STADIUM(宮崎県山之口陸上競技場)」、
「パーソルアクアパーク宮崎(宮崎県プール)」の完成



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポの開・閉会式が行われる陸上競技場が都城市に、県内初の屋内型50mプールを備えたプールが宮崎市に完成しました。

○令和7年3月
メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
リニューアルオープン記念式典開催



約1年半余におよぶ大規模改修工事を終えたメディキット県民文化センターのリニューアルオープン記念式典を開催しました。式典では記念演奏が行われ、来場者はその音色に聞き入っていました。

宮崎県の歴史



昔の県庁周辺(昭和初期)

宮崎は、まっすぐに日の出る方に向いているということから、古より「日向の国」と呼ばれています。また、日本初代天皇・神武天皇にちなむ伝承が存在し、宮のあたりとか、所在地というような意味で、「宮崎」の地名が起こったといわれています。

古代のロマンにみちた神話・伝承や伝統文化が数多く残り、高千穂町・高原町の天孫降臨神話、椎葉村の平家落人伝説、美郷町(旧南郷村)の百済王族亡命伝説などが有名であり、西都市には、巨大な西都原古墳群が広がっています。

江戸時代、現在の宮崎県となる範囲は延岡藩(内藤氏等)・高鍋藩(秋月氏)・佐土原藩(島津氏)・飫肥藩(伊東氏)・鹿児島藩(島津氏)・人吉藩(米良山・椎葉山)・天領に分かれており、小藩分立の状態でした。

明治6年、美々津県と都城県を廃し宮崎県が置かれ、明治9年に廃止となり、鹿児島県に合併され、西南戦争のときは本県も戦場となりました。

明治16年5月9日、分県運動の結果、宮崎県が再置され、今日に至っています。



今の県庁周辺

置県後のあゆみ

明治	16年 5月 7月	宮崎県再置 宮崎県庁開庁
大正	12年 12月	日豊本線開通
昭和	7年 10月 22年 4月 24年 5月 29年 12月 41年 10月 48年 4月 49年 6月 54年 9月 10月 56年 10月 58年 5月 11月 61年 11月 62年 6月 63年 7月	県庁舎(現在の本館)落成 第1回知事、市町村長選挙 宮崎大学設置 宮崎空港開港(極東航空ローカル線) 宮崎空港ジェット化 (地方空港として日本初) 第24回全国植樹祭(夷守台) 宮崎医科大学開学 第34回国民体育大会夏季大会 // 秋季大会 第15回全国身体障害者スポーツ大会 九州縦貫自動車道宮崎線全線開通 置県100周年記念式典 「新ひむかつくり運動」県民会議発足 第10回全国育樹祭(夷守台) 宮崎港開港 宮崎・日南海岸リゾート構想がリゾート法第1次指定
和	4年 8月 5年 10月 6年 4月 7年 10月 11月 8年 3月 7月 9年 4月 12年 4月 7月 8月 13年 4月 9月 15年 6月 16年 4月 20年 6月 21年 10月 22年 4月 8月 23年 11月 24年 4月 10月 25年 6月 11月 26年 9月 27年 5月 11月 12月 28年 4月 7月 29年 6月 9月 30年 5月 31年 4月	全国高等学校総合体育大会 第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会 フォレストピア学びの森学校開校 県総合文化公園グランドオープン 第15回全国豊かな海づくり大会(油津港) 第1回宮崎国際室内楽音楽祭 空港連絡鉄道開通 県立看護大学開学 太平洋・島サミット 九州・沖縄サミット宮崎外相会合 細島港国際コンテナターミナル供用開始 宮崎～ソウル国際定期便運航開始 「日本スポーツマスタース2001宮崎大会」開催 ひむか神話街道全線開通 第55回全国植樹祭開催 県立西都原考古博物館開館 宮崎～台北国際定期便運航開始 全国スポーツ・レクリエーション祭 「スポレクみやざき2009」開催 県内で口蹄疫発生、同年8月終息宣言 第34回全国高校総合文化祭 「全国高総文祭・みやざき2010」開催 宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」誕生 ドクターヘリ運航開始 「第10回全国和牛能力共進会」宮崎牛2大会連続日本一 置県130年記念式典開催 宮崎キャビア1983販売開始 第6回IBAF女子野球ワールドカップ2014宮崎大会開催 第26回全国「みどりの愛護」のつどい開催 「第18回全国農業担い手サミットinみやざき」開催 高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定 東九州自動車道椎田南～豊前間供用開始により宮崎市～北九州市間全線開通 霧島錦江湾国立公園が国立公園満喫プロジェクト先導的モデル地域に選定 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定 「第11回全国和牛能力共進会」3大会連続内閣総理大臣賞(最高位)受賞 日本遺産認定「古代人モニュメント一帯地に絵を描く南国宮崎の古墳景観」(西都・宮崎市・新富町) 「みやざき林業大学校」開講
令和	元年 6月7月 9月 2年 3年 7月8月 8月 7～10月 4年 1月 4月 10月 5年 2月 4月 10月 6年 9月 12月 7年 3月	ラグビーワールドカップ2019 日本代表事前チームキャンプ実施 2019 ISAワールドサーフィンゲームス開催 ラグビーワールドカップ2019 イングランド代表公認チームキャンプ実施 新型コロナウイルス感染症の流行 防災庁舎の完成 東京2020オリンピック・パラリンピック海外代表チーム事前合宿 本格焼酎出荷量 7年連続日本一 「国文祭・芸文祭みやざき 2020」開催 新県立宮崎病院開院 ゾランドエアサーフィンセンター開設 「第12回全国和牛能力共進会」4大会連続内閣総理大臣賞(最高位)受賞 WBC侍ジャパン宮崎キャンプ実施 アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎開設 「G7宮崎農業大臣会合」開催 置県140年記念イベントとして「宮崎県人会世界大会」開催 日向坂 46「ひなたフェス 2024」開催 「KUROKIRI STADIUM(宮崎県山之口陸上競技場)」、 「パーソルアクアパーク宮崎(宮崎県プール)」の完成 メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) リニューアルオープン記念式典開催

12 全国から見た宮崎県



指 標 名	単 位	全 国	宮 崎 県	順 位	対全国比 (%)	調査年・資料出所
総 面 積	km ²	377,976	7,734	14	2.05	R6.10.1 国土地理院
合 計 特 殊 出 生 率	—	1.15	1.43	3	—	R6年(概数) 厚生労働省
県 (国) 内 総 生 産 (名 目)	億円	5,664,897	37,669	39	0.66	R4年度 内閣府、宮崎県
一 人 当 た り 県 (国) 民 所 得	千円	3,274	2,453	46	74.9	// //
消 費 者 物 価 地 域 差 指 数 (総 合)	—	100.0	96.1	46	—	R5年平均 総 務 省
総 農 家 数	戸	1,747,079	30,940	27	1.77	R2.2.1 農林水産省
農 業 産 出 額	億円	95,543	3,720	6	3.89	R5年 農林水産省
ピ ー マ ン 収 穫 量	トン	144,000	25,500	2	17.71	// //
さ と い も 収 穫 量	//	126,700	12,300	2	9.71	// //
き ゅ う り 収 穫 量	//	530,200	61,700	1	11.64	// //
肉 用 牛 飼 養 頭 数	頭	2,672,000	258,200	3	9.66	R6.2.1 //
豚 飼 養 頭 数	//	8,798,000	721,900	3	8.21	// //
ブ ロ イ ラ ー 飼 養 羽 数	千羽	144,859	28,155	2	19.44	// //
ス ギ 素 材 生 産 量	千m ³	11,917	1,846	1	15.49	R5年 //
乾 し い た け 生 産 量	トン	1,816	310	2	17.07	R5年 //
海 面 漁 業 ・ 養 殖 業 生 産 量	//	3,777,920	97,616	13	2.58	// //
近 海 か つ お 一 本 釣 漁 獲 量	//	23,451	18,076	1	77.08	// //
製 造 事 業 所 数	事業所	223,391	1,537	40	0.69	R5.6.1 総務省・経済産業省
製 造 品 出 荷 額 等	億円	3,617,749	18,310	40	0.51	R4年 //
事 業 所 数 (卸 売 業 ・ 小 売 業)	事業所	867,767	7,884	34	0.91	R5.6.1 //
年 間 商 品 販 売 額	億円	6,021,515	26,103	35	0.43	R4年 //
道 路 改 良 率 (国 県 道)	%	78.0	70.8	37	—	R5.3.31 国土交通省
人 口 千 人 当 た り 自 動 車 保 有 台 数	台	644.0	917.2	7	—	R6.3.31 自 検 協
都 道 府 県 別 1 人 当 た り 都 市 公 園 等 面 積	m ²	10.8	20.7	5	—	R5.3.31 国土交通省
人 口 1 0 万 人 当 た り 一 般 病 院 一 般 病 床 数	病床	710.0	856.4	17	—	R5.10.1 厚生労働省
高 等 学 校 等 進 学 率	%	98.6	98.0	45	—	R6年3月卒 文部科学省
大 学 等 進 学 率	//	61.9	48.1	46	—	// //

※「県(内)総生産(名目)」及び「一人当たり県(国)民所得」の順位はR3年度

県のシンボル



県章 (明治 45.1.14 制定)

「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしたもので、「日」を中心に「向」が三方に伸びて、躍進する県のすがたを示しています。



県旗 (昭和 39.12.22 制定)

この旗は、県のシンボルであるみどりと太陽(黄色)をあらわし、宮崎の「ミ」をかたちどり、段階をふんで高まる県の躍進のすがたをあらわしています。

県 の 木



フェニックス



ヤマザクラ



オビスギ

県 の 鳥



コジロヤマドリ

県 の 花



ハマユウ



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ競技会場

web版はこちら



令和7年3月時点

国民スポーツ大会 ■…正式競技(37)・特別競技(1) ●…公開競技(6) ◆…デモンストレーションスポーツ(37)
全国障害者スポーツ大会 □…正式競技(14) ●…オープン競技(4)

(成男)成年男子 (身)身体障がい者が出場できる競技
(成女)成年女子 (知)知的障がい者が出場できる競技
(少男)少年男子 (精)精神障がい者が出場できる競技
(少女)少年女子

五ヶ瀬町

■相撲
◆フロアカーリング

日之影町

■なぎなた
◆森林セラピーウォーキング

美郷町

■バスケットボール[少女]
◆キャッチング・ザ・スティック
◆ポッチャ
◆ラダーゲッター

小林市

■バレーボール(6人制)[少女]
■体操(トランポリン)
■ウエイトリフティング
■カヌー(スプリント)
■ローイング
◆ソフトバレーボール
□バレーボール[精]

高原町

■アーチェリー
◆健幸増進グラウンド・ゴルフ
□アーチェリー[身]

都城市

■陸上競技
■バレーボール(6人制)[少男]
■バスケットボール[成男・成女]
■ソフトテニス[成男・成女]
●ゲートボール
●バウンドテニス
◆パークゴルフ
◆U12バスケットボール
□陸上競技[身・知]
□ポッチャ[身]
□バレーボール[身]
●ブラインドテニス

熊本県熊本市

■水泳(飛込)

鹿児島県湧水町

■カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)

高千穂町

■剣道
◆モルック

延岡市

■水泳(オープンウォータースイミング)
■バレーボール(6人制)[成女]
■体操(競技・新体操)
■軟式野球 ■柔道
■ソフトボール[成男]
●武術太極拳
●パワーリフティング
◆3B体操 ◆ウォーキング
□フットソフトボール[知]
□バスケットボール[知]
□車いすバスケットボール[身]

日向市

■バレーボール(ビーチバレー)
■バスケットボール[少男・少女]
■軟式野球
■ソフトボール[少男・少女]
◆サーフィン
□ブラインドベースボール[身]

木城町

■スポーツクライミング
●エアロビック
◆エンジョイエアロビック

都農町

■ホッケー
◆enjoy T&F GP
◆ラジオ体操
◆アームレスリング

川南町

■軟式野球
◆ウォーキング

新富町

■サッカー[少男]
◆ユニカール
□サッカー[知]

高鍋町

■軟式野球
■バドミントン
◆フレッシュグラウンド・ゴルフ

西都市

■サッカー[少女]
■軟式野球
◆少年サッカー

西米良村

◆ウォーキング
◆ミュージックレクリエーション

綾町

■サッカー[成男]
■ハンドボール[成男・成女]
■馬術
◆ミニテニス

国富町

■フェンシング
◆スポーツウエルネス吹矢

宮崎市

■水泳(競泳・水球・アーティスティックスイミング)
■ソフトボール[成女] ■テニス ■ライフル射撃
■ハンドボール ■ラグビーフットボール
■自転車(トラック) ■空手道 ■ソフトテニス[少男・少女]
■ボウリング ■卓球 ■ゴルフ ■トライアスロン
◆ラジオ体操 ◆少林寺拳法 ◆BMX・スケートボード
◆ビリヤード □水泳[身・知] □ボウリング[知]
□卓球(サウンドテーブルテニス含む)[身・知・精]
□フライングディスク[身・知] □ソフトボール[知]
●ふうせんバレーボール ●卓球バレー ●パラトライアスロン

日南市

■バレーボール(6人制)[成男]
■レスリング
■セーリング
■高等学校野球
●綱引
◆ターゲット・バードゴルフ
□バレーボール[知]

串間市

■弓道
■自転車(ロード)
◆少年・少女レスリング
◆ジュニアサッカー

公式 HP



X



Instagram



LINE



みやぎのうごき2025

2025年 7月発行

宮崎県

宮崎県ホームページ
https://www.pref.miyazaki.lg.jp

SNS、更新中！
フォローお待ちしています！！